

# ブロイラー敷料への梅調味廃液噴霧による臭気低減技術

畜産試験場養鶏研究所

## [研究のねらい]

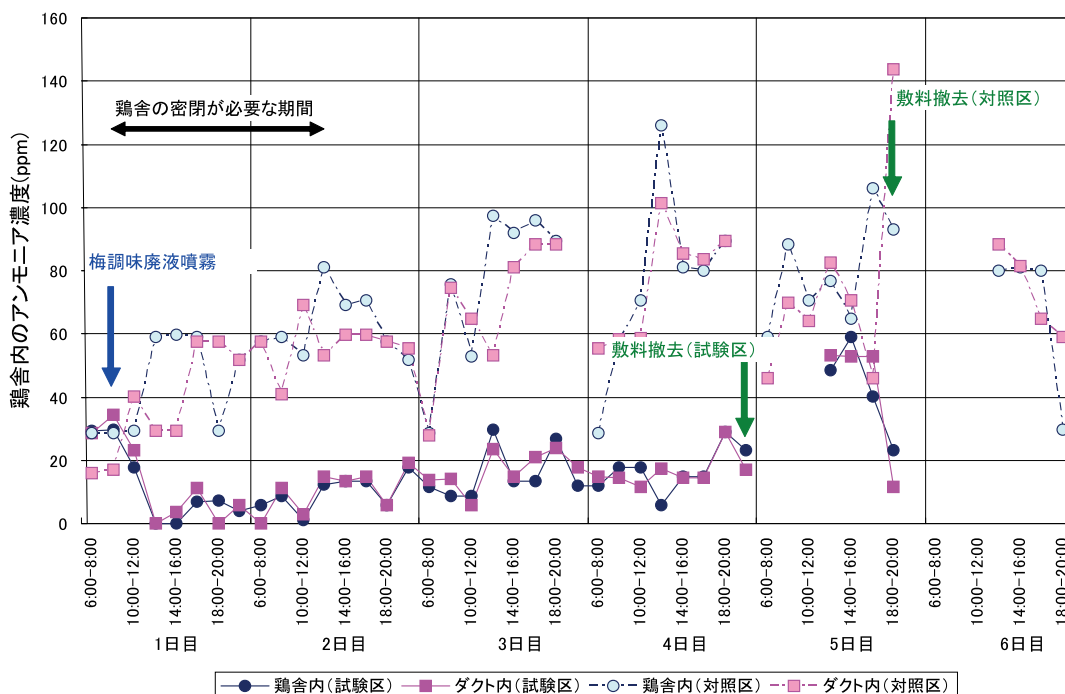
梅調味廃液は酸と塩分を多量に含むため、適正な処理に大変苦慮しています。一方、ブロイラー農家は鶏ふんから発生するアンモニアを含む臭気により、周辺環境への悪臭問題の解決等に苦慮しています。そこで、酸・塩基反応によるアンモニア揮散抑制効果を利用した、ブロイラー出荷後敷料への梅調味廃液噴霧による臭気低減技術を開発しました。

## [研究の成果]

1. ブロイラー出荷後敷料への5%梅調味廃液噴霧で、約4時間鶏舎内空気中からアンモニアが検出されなくなりました。(図1)
2. アンモニア抑制効果は試験期間の5日間継続し、7割程度のアンモニア発生量を抑制されました。(図1)
3. 梅調味廃液噴霧により鶏舎内の臭気的大幅な軽減が認められました。(データ省略)
4. 梅調味廃液は酸を多量に含むため、作業者の鼻粘膜への刺激が確認されました。(データ省略)

## [成果の活用面・留意点]

1. 梅調味廃液の鶏舎外への排出を防止するため、噴霧後約26時間は鶏舎を密閉する必要があります。
2. 梅調味廃液は産業廃棄物に指定されているため、使用には県循環型社会推進課と試験方法を協議することが必要です。



注) 両区とも試験区の調味廃液(推定敷料5%量(1.15kl)) 噴霧する4時間前から測定開始、2時間毎測定

図1 鶏舎内の鶏ふんから揮散するアンモニア量の推移

(問い合わせ先 0738-54-0144)